

再び政権奪取のチャンス到来を訴えます

平成維新を実現する都民の会代表 治田桂四郎

私は、4月号に「政権奪取のチャンス到来」と題して、小川敏夫氏の支援をお願いいたしました。今度の参議院議員選挙の結果は、自民党の大敗北で、現実的に政権奪取の実現の可能性が、高まったと思えます。平成維新の実現も、自民党政権下では、できない事ははっきりしていましたので、別の政権の樹立の可能性が高まったことにより、その可能性が高まったといえます。

具体的には、来春の地方選や、次の衆議院選挙で、再度、自民の敗北が、実現されなければなりません。其の可能性は、高いといえます。自民党に代わる政権は、民主党中心の他党との連合が、一番可能性が、強い。幸、菅直人という国民に人気のある政治家がいて、小選挙区制度で、菅直人氏を片方の旗頭に仕立てて、自民党と闘えば、十分に成算があります。勿論、そのために、私たちの会が、大いに力を発揮すべきである。具体的には、KANプロジェクトの支援による、菅直人を首相に指名しよう運動を盛り上げる事が、一番の急務です。

幸、菅直人氏は、主権を官僚から市民の手にを目標にしており、正にベースは、私たちの会の考えと同じです。

市民運動には、いろいろあり、もっと、個々の事で、世の中のためになる事に注力しているところもあり、素晴らしい事と思えます。しかし、権力を持

つ政治家(党)が、どのような考えを持っているか、又、持っているだけでなく、実行する意欲と力があるかが市民運動の進捗等にも大きく影響しますので、私は、この際、私たちの会は、菅直人氏をリーダーとする政権を実現することに最注力すべきと思えます。

自民党でも改革に意欲を持つ人もいますので、一概に、自民党の人は、だめと、決めつけない様にしたいたと思います。しかし、自民党から政権を奪取するには、自民党以外のすべて(共産党も公明党も含む)の党が、力を合わせる事が、肝要です。

同時に、市民レベルでの運動による菅直人の首相候補にするムードの盛り上げが、必須です。正に、私たちの力を発揮するチャンスです。

因みに、小俣氏が、KANプロジェクト特別委員会委員長です。

会員の皆様には、頭や、口だけでなく、身体や、お金も出来るだけ(思い切って、惜しみなく)提供してください。夢と理想の実現の為に、この一年は正念場です。一寸、くどくて、長く、なりましたがお許しください。

※KANプロジェクトは、一般の方に、FAXで菅直人氏を首相候補に指名しようとして書いて送る運動です。具体的には、身近な人に勧めたり、ピラ(用紙)を配ったりします。

会費納入のお願い

会報送信用封筒に記された「更新日」の右の「未」の方は「会費未納入」ですので、出来るだけ早く会費の納入をお願いします。

年会費 3,000円

郵便口座番号 00190-5-252552

振込口座名称 「平成維新を実現する都民の会」

生活者通信【9月号】目次

- 1頁 「政権奪取のチャンス到来」 治田桂四郎
- 1頁 「会報へ投稿下さい! / 会名変更の意見を!」
- 2頁 「第38回運営会議議事録」 杉原健児
- 2頁 「平成維新東京各種活動状況」 平成維新東京
- 4頁 「会の名前に対する私の考え」 治田桂四郎
- 5頁 「KANプロピラ配りに参加しよう」 杉原健児
- 6頁 「"別称"を使おう!」 小俣一郎

- 6頁 「"会名変更問題"所感」 大谷和夫
- 7頁 「会名変更への意見」 平岡昭三
- 8頁 「台湾海峡は大丈夫か? (2)」 板橋光紀
- 9頁 「憲法は国民の名によって(1)」 大山悦男
- 10頁 「首都圏市民会議7月度議事録」 高橋 聡
- 11頁 「イベント・集会情報」 平成維新東京
- 12頁 「平成維新東京・第4期役員名簿」 事務局

会報へ「投稿」下さい!

「会報」は、会員の皆さんの間を結ぶ情報ネットワークです。情報の一方通行ではなく、相互交流のための会員のメディアです。是非、多くの皆さんの投稿をお待ちしております。

「投稿」された原稿は、原則として「掲載」させて頂きます。従って「会の理念や方針」と多少異なった「個人的意見」が、記者の責任で掲載されることがありますので、ご了解下さい。

「会名変更」の意見を!

「会名変更」に関する「意見」が4編寄せられました。有り難うございました。これらの意見に対する賛成・反対・追補の意見もあるかと思えます。「会名変更」は多くの皆さんの関心事だと思えます。この件は年内には結論を出すことになっております。従って、更に多くの方々のご意見を掲載したいと思っております。変更賛成・反対・その他、何でも結構です。皆さんの「投稿」をお待ちします。